

1, 概要

(1) 調査の目的

本調査では子供たちの、「学力の伸び」を測ることができる「教科に関する調査」、学習に対する意欲や学習方法、さらに家庭での生活習慣等に関する「質問紙調査」のほかに、各教育委員会や各学校の取組についての「質問紙調査」も実施しています。

「学力の伸び」は、子供たちの1年間の学習成果であるとともに、教育委員会や学校の取組の成果でもあります。本調査で示す、子供の「学力の伸び」と「教育委員会や学校の取組の変化」の関係を検証することで、今まで以上に取組の効果を確かめることができると考えています。（埼玉県教育委員会HPより）

(2) 実施日・実施内容

- 令和3年5月11日（火）
- 県内の公立小・中学校（さいたま市を除く）の小学校第4学年から中学校第3学年の全児童生徒
- 教科に関する調査 国語、算数 出題数は各学年26～40題（問題形式は選択肢・短答・記述）
- 質問紙調査 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

2, 実施教科における本校の学力の伸びの状況

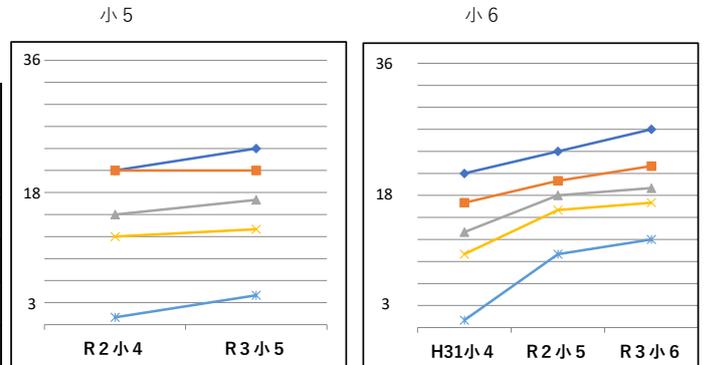
(1) 国語

埼玉県の平均より上

埼玉県の平均より下

※4年生は今年度が最初なので伸びの状況はありません

		学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	学力の伸び率 (R3学力レベルとR2学力レベルの差の平均)
5年国語	埼玉県	72.9	27.1	2.3
	南小学校	75.2	24.8	2.4
6年国語	埼玉県	71.4	28.6	2.0
	南小学校	56.6	43.4	1.5



- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- × ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- * ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

国語結果（分析）

4年生（平均正答率は、狭山市・埼玉県より高く、学力レベルは県平均に並ぶ）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、26問中15問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「文中の主語・述語を選択する」「漢字を書く（音＋音）」などで県平均より10%以上であった。また、正答率が低かった問題は「適切な接続語を選択する」などで、県平均より6%以下であった。

5年生（平均正答率は、狭山市・埼玉県より低い、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県より高い。県72.9% 本校75.2%）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、30問中8問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「目的に合った遊びを選び、選んだ理由を二段落構成で書く」などの「記述式」の問題で、県平均より5%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「多義語について異なる意味を理解する」や「文中に書かれている具体的な事実をまとめた表にあてはまる言葉を考えて書く」などで、県平均より10%以下であった。

6年生（平均正答率は、狭山市・埼玉県より低く、学力を伸ばした児童の割合も埼玉県より低かった。県71.4% 本校56.6%）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、30問中8問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「主語と述語の関係を理解し、適切な文の形に直して書く」や「文中の言葉に対応する適切な文末表現を四つの中から選択する」などの問題で、県平均より4%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「文章の表現について、同義の表現を文中から書きぬく」や「文の内容として適切なものを選択する」などの読み取りの問題で、県平均より10%以下であった。

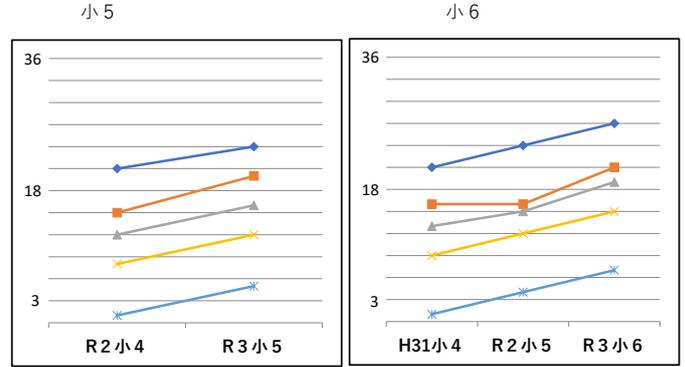
(2) 算数

埼玉県の平均より上

埼玉県の平均より下

※4年生は今年度が最初なので伸びの状況はありません

		学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	学力の伸び率 (R3学力レベルとR2学力レベルの差の平均)
5年算数	埼玉県	81.5	18.5	3.0
	南小学校	86.1	13.9	4.1
6年算数	埼玉県	81.1	18.9	3.1
	南小学校	84.2	15.8	4.0



算数結果 (分析)

4年生 (平均正答率は、狭山市より高く、埼玉県より低かった。)

- ・正答率で県平均より高かった問題は、30問中11問であった。学力レベルは市平均に並ぶ。
- ・正答率が高かった問題の領域は、「数と計算」「図形」などで県平均より1%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は「表から、資料の特徴を読み取る」や「時計を読み取り、時刻を計算して求める」などで、県平均より10%以下であった。

5年生 (平均正答率は、狭山市・埼玉県より低い、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県・市より高い。県81.5% 本校86.1%)

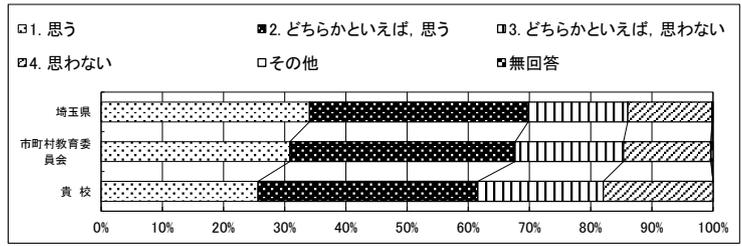
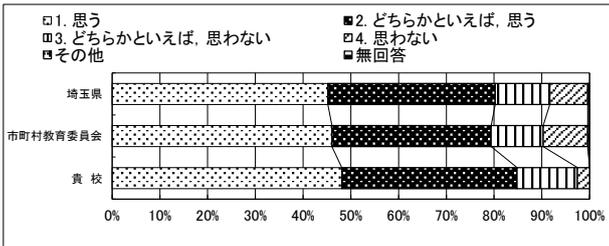
- ・正答率で県平均より高かった問題は、32問中8問であった。学力レベルは市平均に並ぶ。
- ・正答率が高かった問題の形式は、「記述式」などの問題で、県平均より2%以上であった。また問題では、「余りのある除法を計算できる」が10%以上高かった。
- ・正答率が低かった問題は、「わり算の計算をするときの工夫の仕方を書く」や「問題の場面を、()を用いて1つの式に表す仕方を考えることができる」などで、県平均の10%以下であった。

6年生 (平均正答率は、狭山市・埼玉県より低い、学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県・市より高い。県81.1% 本校84.2%)

- ・正答率で県平均より高かった問題は、32問中14問であった。学力レベルは市平均に並ぶ。
- ・正答率が高かった問題は、「計算の工夫において、どの計算法則を用いているか選ぶ」や「異分母の場合でも分数の加法を計算できる」などの問題で、県平均より5%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「商が一番大きくなるわり算の式を選ぶ」や「割合が1より小さい場合、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している」などの「数と計算」の問題で、県平均より12%以下であった。

3, 児童質問紙調査より

質問 「自分には、よいところがあると思いますか」



※4年生では、自分に自信を持てる児童が多いが、6年生になると県よりも少なくなっている。自己肯定感を高めることが課題だといえる。

4, 総括

- ①学校においては引き続き45分間の授業を大切に、学習への児童の興味関心が高まるようにしていきます。また、言語活動の充実も図っていきます。
- ②どの子にも「わかる、できる」授業の工夫改善に今後も努めていきます。また、自信を持てるように励ましていきます。
- ③無回答の児童を出さないように、最後まであきらめずに問題を解決する態度と能力を育てます。
- ④日々の根気強い取り組みを通し、漢字・計算の習得率を上げます。
- ⑤ゲームやスマホ、インターネット等の使用時間を見直していただき、家庭学習や読書の時間が十分確保できるように、ご協力をお願いします。

令和3年度埼玉県学力・学習状況調査(小学校4年, 5年, 6年)

埼玉県・狭山市より上
回っている 0.5以上

4年国語

	平均 正答率	R3小4 レベル (平均)
埼玉県	58.0	6-A
狭山市	56.3	6-B
南小	59.3	6-A

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	71.6	70.4	74.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	67.9	67.4	67.3
	話すこと・聞くこと、書くこと	29.3	25.8	28.9
	読むこと	41.1	38.0	41.1
評価の観点	知識・技能	70.5	69.5	72.5
	思考・判断・表現	34.5	31.2	34.3
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	64.6	62.6	65.5
	短答式	54.5	53.3	55.9
	記述式	15.9	9.2	19.0

4年算数

	平均 正答率	R3小4 レベル (平均)
埼玉県	69.9	5-A
狭山市	67.7	5-B
南小	68.6	5-B

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	72.2	70.8	73.5
	図形	58.3	56.4	59.7
	測定	71.6	69.4	65.8
	データの活用	75.2	71.4	70.3
評価の観点	知識・技能	72.5	70.1	70.6
	思考・判断・表現	53.1	52.4	55.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	66.4	64.8	64.6
	短答式	76.3	73.9	75.5
	記述式	22.4	17.3	19.0

5年国語

	平均 正答率	R2小4 レベル (平均)	R3小5 レベル (平均)	令和2年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	56.7	6-B	6-A	1
狭山市	54.8	6-C	6-A	2
南小	52.5	6-C	6-B	1

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	58.0	57.1	53.9
	情報の扱い方、我が国の言語文化	60.1	60.8	58.6
	話すこと・聞くこと、書くこと	40.6	34.2	38.2
	読むこと	60.3	58.0	54.2
評価の観点	知識・技能	58.5	58.0	55.0
	思考・判断・表現	54.3	50.7	49.3
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	55.0	53.6	51.2
	短答式	60.9	59.1	55.6
	記述式	34.9	24.0	40.2

5年算数

	平均 正答率	R2小4 レベル (平均)	R3小5 レベル (平均)	令和2年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	61.6	5-B	6-B	3
狭山市	59.6	5-C	6-C	3
南小	59.0	4-A	6-C	4

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	65.0	62.6	62.1
	図形	60.4	59.8	60.1
	測定	61.2	59.7	58.0
	データの活用	56.1	52.8	52.6
評価の観点	知識・技能	64.3	62.9	61.6
	思考・判断・表現	54.8	51.1	52.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	61.8	59.7	59.9
	短答式	64.2	62.3	60.8
	記述式	14.5	11.7	16.7

埼玉県・狭山市より下
回っている 0.5以下

6年国語

	平均 正答率	H31小4 レベル (平均)	R2小5 レベル (平均)	R3小6 レベル (平均)	令和2年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	58.6	5-A	6-A	7-B	2
狭山市	57.7	5-A	6-A	7-B	2
南小	55.2	5-B	6-A	7-C	1

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	61.6	61.9	59.2
	情報の扱い方、我が国の言語文化	72.7	72.1	71.8
	話すこと・聞くこと、書くこと	43.9	40.7	40.1
	読むこと	55.8	54.0	50.0
評価の観点	知識・技能	63.6	63.7	61.5
	思考・判断・表現	52.1	49.9	46.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	62.8	62.3	59.5
	短答式	52.8	52.1	49.4
	記述式	37.5	26.5	30.8

6年算数

	平均 正答率	H31小4 レベル (平均)	R2小5 レベル (平均)	R3小6 レベル (平均)	令和2年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	60.9	5-B	6-C	7-C	3
狭山市	60.7	5-A	5-A	6-A	3
南小	60.1	5-C	5-B	6-A	4

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	63.1	63.0	62.7
	図形	62.3	62.5	63.4
	測定	64.2	65.2	64.5
	データの活用	53.1	51.1	48.5
評価の観点	知識・技能	62.6	62.3	62.1
	思考・判断・表現	52.1	52.1	49.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	62.9	62.3	60.6
	短答式	62.5	62.7	63.1
	記述式	5.7	5.1	3.8